

文章の書き方教室 第1回

第1回(2018/10)

文章を書くときにはいくつかの約束事があります。一般的な書き方は、下記に習って書きます。

1. 主語・述語をしっかりと分かりやすく書く。
2. 修飾語・被修飾語の関係をはっきりとする。
3. 読点・句点を適切に入れる。

このような注意点は学校の国語の授業で習うことです。この約束事で文章は十分に書けます。

しかし、もっとわかりやすく文章の書き方を説明してほしいという人に、また受験の時の志望理由書や就職試験時のエントリーシートを合格するまでの文章に仕上げたいという人に向けて書いてみました。

つまり、わかりやすく、人が読みやすい文章の書き方を下記に紹介してみました。次のことに注意をして文章を書いてみてください。

1. できるだけわかりやすくするためには難しい言葉を使わない。
〈例〉 × 今日の先生の話は、どうも腑に落ちない。
○ 今日の先生の話は、どうも納得ができない。
2. あいまいな言葉には必ず説明文を入れること。
〈例〉 × ぼくは今、あまりおなかがすいていない。
○ ぼくは、2時間ほど前に食事をしたのでおなかがすいていない。
3. 詰まる言葉は使わないこと。
〈例〉 × 今日はとっても天気の良い日です。
○ 今日はとても天気の良い日です。

そして一番大切なことは、話し言葉と書き言葉を区別することなのです。

〈例〉 × 「今日、ディズニーランドに行って、食事をして、パレードを見て、とっても楽しかったです。」

と書いてはいけません。これは話し言葉です。

この文章を書き言葉で表現をしようとすると次のようになります。

- 「ぼくは今日、ディズニーランドに行きました。そして、ショーを見ながら食事をし、パレードも見ました。普段とは違う楽しい一日でした。」

と書きます。書き言葉で表現をするときには、説明を入れながら「句読点」を入れて書きます。そのために、文章が長くなってしまいます。ですから、何を書くのかをしっかりと下書きをして書き始めないと、わかりやすい文章を書くことはできません。読みやすい文書こそが、上手な文章なのです。そして、美しい日本語なのです。

以上の点に注意をして文章を書いてみてください。また、機会があれば、今度は細かい言葉の表現方法について書いてみたいと思います。